



令和7年2月1日
日の出保育園

今月の目標

『身の回りの事を自分でやってみましょう』
『寒さに負けず、元気に過ごしましょう』

2月になり寒さはまだまだ厳しく、インフルエンザをはじめ感染症への予防が大切です。保育園では、お子さまの発熱、体調不良には注意を払ってまいります。
今月は、おおきくなった会をはじめ、楽しい行事を予定しています。お子さまたちの練習の成果を楽しんでいただけたらと思います。毎日の健康が大切です。
よく食べ、よく眠り、元気に登園出来るよう、御協力お願いします。



- 3日(月) 節分・2月生まれの誕生会
- 5日(水) リハーサル
- 7日(金) 写真撮影
- 15日(土) 大きくなった会
- 19日(水) 乳児定期健康診断(園医:曾我先生来診)
- 21日(火) 避難訓練(火事、地震、初期消火)

※ 状況に応じて延期等、変更もあります。



- 3日(月) 3月生まれの誕生会
 - 5日(水) 乳児定期健康診断(園医:曾我先生来診)
 - 22日(土) 第50回 修了式 すみれ組参列
- ※ 状況に応じて延期等、変更もあります。
- ◆ さくら組卒園遠足...日程等調整中



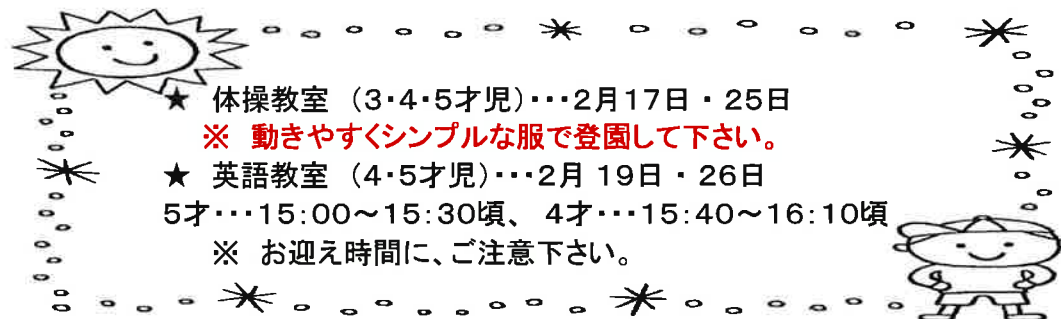
個人面談は、書面にて行います。



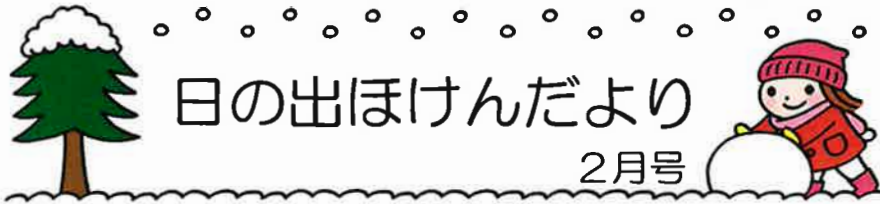
日程：2月15日(土) クラス毎の完全入れ替え制
※ クラス毎に席くじを行います。
場所：3階保育室

- **クラス毎の完全入れ替え**で、行いますので、ご理解・ご協力の程宜しくをお願いします。尚、時間等の詳細は、後日お知らせ致します。
- **一家庭保護者2名**の参観とさせて頂き、小中学生の参観は出来ません。
- ◆ 2/3(月)~2/7(金) 観覧席くじ引き(座席1席ずつ)
登降園時に、クラス毎行います。
- ◆ 2/7(金) 写真撮影(販売用)
※プロのカメラマンが撮影し、後日販売致します。
尚、ビデオ撮影・販売は、ございません。

- ◆ お願い ◆
- 当日の入室時間につきましては、多少ずれる事がありますので、ご了承下さい。御理解・御協力の程、よろしくをお願いします。
- 演技中はお子様演技に集中出来るよう、声掛けや手を振る等をご遠慮下さい。
- 入場されましたら席番号に着席して頂き、演技中の離席、移動なさらぬよう、御協力をお願いします。
- **外靴を入れるビニール袋、席番号カード、スリッパ**を忘れずにお持ち下さい。



- ★ 体操教室(3・4・5才児)...2月17日・25日
※ **動きやすくシンプルな服で登園して下さい。**
- ★ 英語教室(4・5才児)...2月19日・26日
5才...15:00~15:30頃、4才...15:40~16:10頃
※ お迎え時間に、ご注意下さい。



日の出ほけんだより

2月号

気温が低く、乾燥した日が続いていますね。2月4日は暦の上では立春で春を迎える時期とされていますが、一般的に1月下旬から2月にかけて最も寒くなると言われています。感染症も流行しやすい時期ですので、手洗いうがいをしっかり行い予防に努めましょう。

2025年2月
看護師 遠藤



ケガのケアと対処法

小さい子供は思いがけないケガをすることが多いですね。常に急なケガへの心構えが必要ですね。

【口の中のケガ】

口の中を切ると傷は浅くても出血量に驚くことがあります。しかし、ガーゼなどをかませたり、押し当てたりすると比較的早く出血は止まります。慌てずに処置しましょう。この時血が気道に入らないよう、うつむき加減にするとよいでしょう。

【鼻血】

鼻をつまんで圧迫します。押さえる場所は骨の上ではなく小鼻です。鼻血を飲み込むと吐き気や気分が悪くなる事があるため、顔はうつむき加減にしましょう。冷たいタオルで冷やしてもよいです。時々様子を見ながら15分ほど圧迫しそれでも出血が止まらなければさらに15分圧迫を続けます。30分以上止まらなければ病院を受診しましょう。

【落ちた時・ぶつけた時】

まず骨折などのケガがないかチェックしましょう。手足が変な曲がり方をしていたり、腫れがひどく痛がったりするようなら骨折が疑われます。患部を動かさないようにして急いで整形外科を受診しましょう。外傷が見当たらない場合も、しばらくは安静にさせて様子を観察してください。顔色が悪い、吐き気があるなどの場合はからだの中で損傷が起きていることも考えられます。早めに受診をしてください。

頭部のケガをした直後は嘔吐や意識消失等の急変が起こるリスクがあります。首から上のケガをした場合、24時間は自宅で安静に過ごし、普段と様子が変りないことを確認してから登園にご協力をお願いします。

スキンケアできていますか？

乾燥が著しい季節です。子どもの肌はデリケートで乾燥が進むと皮膚のバリア機能が低下しやすいため、保湿してあげることが大切です。乾燥による痒みがある場合や引っ掻いて傷になっているときなどはお医者さんに相談して保湿剤を見つけておくとよいでしょう。



●入浴のポイント

毎日の入浴で体を清潔に保つことは大切ですが、洗浄力の強い石けんやボディソープで洗うと、かえって肌を乾燥させます。洗浄力がゆるやかで刺激の弱い物を少量、よく泡立ててから使いましょう。肌が乾燥気味の際は、タオルを使わず、手で優しく洗う程度で十分です。また、保湿成分を含む入浴剤を使用するのも効果的です。かゆみ強い時は、ぬるめの湯温で入浴しましょう。

1月の感染症

・インフルエンザA・・・4名

2月の予定

・12日 乳児健康診断
・3週目 身体測定

